



気象庁55年長期再解析（JRA-55）

1. 識別情報

名称	気象庁55年長期再解析（JRA-55）
メタデータID	JRA5520181015131402-DIAS20180903143952-ja

2. 問い合わせ先

2.1 データセットに関する問い合わせ先

名前	気象庁地球環境・海洋部気候情報課
住所	日本，100-8122，東京都，千代田区，大手町1-3-4
電子メールアドレス	jra@met.kishou.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問い合わせ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	一般財団法人リモート・センシング技術センター
住所	日本，105-0001，東京都，港区，虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階
電子メールアドレス	dias-office@dias.jp.net

3. ドキュメント作成者

名前	気象庁地球環境・海洋部気候情報課
組織名	気象庁地球環境・海洋部気候情報課
電子メールアドレス	jra@met.kishou.go.jp

4. データ作成者

名前	気象庁地球環境・海洋部気候情報課
組織名	気象庁地球環境・海洋部気候情報課
電子メールアドレス	jra@met.kishou.go.jp

5. ドキュメント作成年月日

2018-10-15

6. データ作成年月日

publication : 2013-10-01

7. データセット概要

7.1 序論

長期再解析は、過去の観測データを最新の数値解析予報システムで処理することにより、長期間にわたる高品質で均質な気温や降水量等の気候データセットを作成することを目的としている。

気象庁は、2回目の長期再解析として、より精緻化された数値解析予報システム（2009年12月時点の現業システムに準拠）と新たに整備した過去の観測データを使用して、再解析対象期間を1958年～2012年に延長した気象庁55年長期再解析（JRA-55）プロジェクトを実施した。JRA-55は、過去半世紀以上の気候変化をより高精度に解析することを目的とした気候データセットである。

7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	1958-01-01
終了日	継続中

7.4 地理的範囲

北限緯度	90
西限経度	-180
東限経度	180
南限緯度	-90

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
row	288	1.25 (deg)
column	145	1.25 (deg)
vertical	37	1-50 (hPa)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Atmosphere	GCMD_science
theme	Aircraft, Balloons/Rockets, Earth Observation Satellites, In Situ Land-based Platforms, In Situ Ocean-based Platforms, Models >, Navigation Platforms	GCMD_platform

theme	Climate, Weather	GEOSS
-------	------------------	-------

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

長期再解析プロジェクト・ウェブサイト : <http://jra.kishou.go.jp/>

JRA-55プロダクト利用手引書 (英文) : http://jra.kishou.go.jp/JRA-55/index_en.html#manual

JRA-55プロダクト利用手引書 (和文) : http://jra.kishou.go.jp/JRA-55/index_ja.html#manual

ファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:204>

使用上の注意 (英文) : http://jra.kishou.go.jp/JRA-55/index_en.html#quality

使用上の注意 (和文) : http://jra.kishou.go.jp/JRA-55/index_ja.html#quality

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
GRIB	1	

8. 系譜情報

8.1 データセット作成に関する加工過程や履歴の説明

気象庁55年長期再解析(JRA-55)データの一部欠損(値が全て0)については、

平成30年10月2日付でお知らせしたところです。今般、欠損していたデータの修正データへの差替えが完了しました。(2018-10-15)

8.2 元データの情報

データ起源の引用名	加工するデータ起源の説明
-----------	--------------

8.1 データセット作成に関する加工過程や履歴の説明

気象庁55年長期再解析(JRA-55)の一部のデータが欠損(値が全て0)となっていることが判明しました。欠損データは以下の通りです。

プロダクト名 : fcst_surf125 (1.25度緯度/経度格子2次元物理量瞬間値データ)

期間 : 2018年6月4日以降

要素名：海面更正気圧、全雲量、上層雲量、中層雲量、下層雲量

上記のプロダクトにつきましては、近日中に修正データへの差替えを行い、JRA-55 ホームページで改めてお知らせする予定です。それまでの間、ご利用にならないようお願いいたします。（2018年10月2日）

8.2 元データの情報

データ起源の引用名	加工するデータ起源の説明
-----------	--------------

9. 品質等

10. データセット利用制約条項

10.1 データ提供者による利用規約

1. 本データ使用責任者の氏名・所属・連絡先及び利用目的を明らかにすること。
2. 本データを気象庁の許可無く第三者に提供しないこと。また、商業的な活動に利用しないこと。
3. 本データを利用した論文・報告文には、これを利用した旨を明記すること（下の「引用例」参照）。
4. 本データを利用した論文・報告文を作成した場合には、気象庁に写しを提出すること。

免責事項

気象庁は、本データについて細心の注意を払っておりますが、本データの信頼性について一切保証するものではありません。また利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても気象庁が責任を負うものではありません。

10.2 プロジェクトデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

DIASのデータ利用ポリシーは、第一にデータ提供機関のデータ利用規約が優先します。データ提供機関が利用規約を定めていない場合は、以下のDIASプロジェクトデータ利用規約が適用されます。

1. 利用者は、データ提供者が示すデータ利用規約がある場合はそれを優先し従うこと
2. 利用者は、DIASデータセットを研究及び教育目的に利用することができる（注1）
3. 利用者は、DIASデータセットの内容を改変しないこと
4. 利用者は、DIASデータセットを第三者に提供しないこと
5. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、データ引用文に掲載されている文章をカッコ書きで引用すること
6. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、公表物の写し（論文の場合は別刷り、口頭・ポスター発表の場合は講演要旨のコピー）をDIAS事務局に提出すること

（注1）

データ提供者による利用規約において、営利目的の利用も許諾されるデータセットに関しては、DIASデータセットとしても基本的に営利目的の利用を可能とするよう、現在準備を進めています。個別の問い合わせは、DIAS事務局までお願いいたします。

[DIAS事務局]

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階

一般財団法人リモート・センシング技術センター

DIAS事務局宛

E-mail: dias-office@diasjp.net

10.3 プロジェクト免責事項

10.3.1 データ統合・解析システム

1. DIASは、利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても責任を負わない。
2. DIASは、予告なしに本サイト上の情報を変更・削除・提供を中止することがある。
3. DIASは、提供したデータに関する処理・解析作業についてサポートしない。

11 データ引用文

11.1 データ提供者データ引用規約

本データを利用した論文・報告文には、これを利用した旨を明記すること（下の「引用例」参照）。

引用例

「利用したデータセットは気象庁55年長期再解析（JRA-55）プロジェクトにより提供されたものである。」

11.2 プロジェクトデータ引用規約

11.2.1 データ統合・解析システム

利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上发表・報告等を行う場合は、以下の引用文を謝辞として明記すること。また、データ提供者が示す謝辞の引用文がある場合は、それも併記すること。

”利用したデータセットは、文部科学省の委託事業により開発・運用されているデータ統合解析システム（DIAS）の下で、収集・提供されたものである。”

12. 参考文献

Kobayashi, S., Y. Ota, H. Harada, A. Ebita, M. Moriya, H. Onoda, K. Onogi, H. Kamahori, C. Kobayashi, H. Endo, K. Miyaoka, and K. Takahashi, 2015: The JRA-55 Reanalysis: General Specifications and Basic Characteristics, J. Met. Soc. Japan, 93, 5-48, doi: 10.2151/jmsj.2015-001.

Copyright(c) 2006-2018 Data Integration & Analysis System (DIAS) All Rights Reserved.
This project is supported by "Data Integration & Analysis System" funded by MEXT, Japan